

{ 8月に予定されているセンターのイベント情報や、
 その他のお知らせについてご案内します。 }

夏休みスペシャルプログラム

「漫湖自然学校」は、後半も盛りだくさん!!

【期 間】2012年7月16日(月)～ 8月31日(金)

【場 所】漫湖水鳥・湿地センター

「漫湖自然学校」8月のご案内

◆観察会:「月夜とカニの観察会」8月2日(木) 19:00-21:00

「漫湖のカニ探検」8月5日(日) 13:00-15:00

「水の中のいきものたち」8月11日(土) 9:30-11:30

「泥の中のいきものたち」8月12日(日) 9:30-12:00

「漫湖のカニ探検」8月18日(土) 10:30-12:30

「ナイトウォーク」8月25日(土) 18:00-20:00

◆研究室:「マングローブ染め工房」8月4日(土) ①9:30-12:00 ②14:30-17:00

「カニ博士の部屋」8月19日(日) 9:14:30-16:30

「レンズの仕組み」8月26日(日) ①10:00-12:00 ②14:30-16:30

◆自由研究相談室:夏休み期間中の毎週金曜日

※各イベントの予約お申し込みは、開催日の二週間前の金曜日から行います。

※「漫湖自然学校」8月のイベント情報やその他イベントの詳細い内容は、お問い合わせまたはセンターホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】 漫湖水鳥・湿地センター ☎098-840-5121

インターンシップの受け入れについて

センターでは、8月7日から27日までの約3週間、沖縄国際大学で地域環境経済について学んでいる学生3名をインターンシップで受け入れます。

来館者の皆様におきまして、温かい目で見守って頂きますようよろしくお願い致します。

Topic :

{ いきものファインダー
 漫湖の風景 - 10 }



見ていると何だか心地のよいもの。

6月の大潮は潮位が高く、満潮時の木道から見える波のゆらぎは、何だか心地のよいものです。このように、人間が心地よいと感じるゆらぎのことを“1/f ゆらぎ”と言い、一定の規則性の中に埋め込まれた、人間が予測できない不規則なリズム(流れ)のことを指します。一番分かりやすい例が木の木目ですが、自然界では鳥のさえずりや川の流れ、木漏れ日などにも見られます。このゆらぎ、実は私たち人間の心拍周期や脳波にも見られるものだそうです。もしかしたら、こうした自然界の普遍的なメカニズムと、人間の生体感覚に組み込まれた共通のリズムが、互いに同調して心地よいと感じるのかもしれない。そう考えてみると、人間もやっぱり自然の一部なんだなと思います。



6/10 (日)
観察会：
「コウモリのうんち」

「コウモリはどうやってウンチをするの？」みなさんは知っていますか？この観察会はこのことと私たちのコウモリに対する素朴な疑問に答えるようにのがきっかけではじまりました。本物のコウモリに間近で会えるということもあって、毎回とても人気のある観察会です。

この日も、沖縄こどもの国からオリオオコウモリのメスのジュンちゃんがゲストとしてきてくれました。オリオオコウモリは、ここ漫湖でも日暮れ頃に豊見城城址から飛んでいく様子が見られます。参加した子どもたちは近くで見るコウモリの姿に興味津々、コウモリ先生の吉岡さんも質問の嵐です。観察会ではその他、コウモリの骨格標本や毛皮が登場したり、沖縄で見られるコウモリのお話しや鳥とコウモリの違いについてのお話しも聞くことができました。

「身近に観察できるコウモリについて知ること、私たちの身の回りにいる生き物や自然の大切さについて考えるきっかけにしてほしい。」と、吉岡さん。その言葉に込められた思いは、参加した子どもたちにもきつと伝わっていたと思います。



6/17 (日)
観察会：
「昆虫標本堂」

6月17日(日)に、毎年恒例の「昆虫標本堂」が行われました。センターで実施している昆虫標本作りで大切にしているところは、“その日自分で捕まえた虫を標本にする”という点です。言い換えれば、“捕まえた虫を自分で殺す”ということです。昆虫たちにとってはすごく残酷なこともかもしれませんが、そういう小さな命の犠牲があってはじめて標本は作られているということを知ってほしいのです。そのために、なぜ標本をつくるのか？標本にはどんな意味があるのか？といったこともちゃんと説明します。

虫を捕ったり、外で遊ぶことの少なくなっている今の子どもたちにとっては、カブトムシやクワガタといった昆虫もお金で買えるものの一つになってしまいました。そういう環境で生きものに関わっている子どもたちに、命の尊さを伝えるのはとても大切なことだと私たちは考えています。

自分で殺した昆虫だからこそ、最後まで丁寧に責任を持って標本にする。当たり前だけど失いたくない感覚を、これからも昆虫標本堂を通して子どもたちに伝えていきたいです。

■ 2012.6/1 — 2012.6/30 { 漫湖で確認された野鳥 …………… 計 25 種 }

漫湖 寄鳥見鳥

漫湖で確認された鳥類一覧

6/6



キジバトのお散歩デート。

特に珍しい光景ではないのかもしれないが、マングローブ林内を2羽のキジバトがトコトコ歩いていた。辺りを一通り見渡して確認してみるが、キジバトが食べるような種子類は落ちていない。「ここで一体何をしているのだろうか？」しばらく観ていたが、エサを探すでもなく、ましてやアオバトのように海水を飲むはずもなく、ただただ林内を歩き回っては、その後どこかに飛んでいってしまった。何をしていたのかが気になる私は、何にでも意味を見出すとする人間の勝手を都合に、「キジバトのお散歩デート」ということにした。

1, ゴイサギ	26,
2, ダイサギ	27,
3, チウウサギ	28,
4, コサギ	29,
5, アオサギ	30,
6, クロツラヘラサギ	31,
7, ミサゴ	32,
8, オオバン	33,
9, アオアシシギ	34,
10, キアシシギ	35,
11, チウウシャクシギ	36,
12, クロハラアジサシ	37,
13, コアジサシ	38,
14, キジバト	39,
15, カワセミ	40,
16, リュウキュウツバメ	41,
17, シロガシラ	42,
18, ヒヨドリ	43,
19, イソヒヨドリ	44,
20, セッカ	45,
21, メジロ	46,
22, スズメ	47,
23, ハシブトガラス	48,
24, ドバト	49,
25, シマキンパラ	50,

※この観察記録は、毎月実施されている鳥獣保護区の定点カウントの記録と、センターでの観察記録を基にまとめたものです。